



学ぼう・みがこう 消費者力

消費者力検定講座第5講報告



講師 豊島まき子氏

開催日：2014年1月21日（火）10:00~12:30

会場：東京都生協連会館

参加人数：10名、講師・事務局 2名 計 12名

主催：東京都生協連消費者行政連絡会

協賛：東京都消費者月間協賛事業

検定の問題をピックアップで解説していただき、改めてなぜ消費者力を向上させることが大切なのかを学びました。また、実際に啓発手法を用いて自分たちがやってみることで自信へとつなぐことができました。

—2013年度の検定振り返り—
今回東京都生協連の受験者12名の平均点は、全国の平均点を4.26点上回る好成績となりました。特に食の分野はみなさん好成績でした。

学んだことを活かすために

〈消費者市民社会〉がキーワードとなる。

『知る』ことで「知識」を「意識」にして「行動」へつなげ、〈消費者市民〉として発信していく。

啓発の重要性

私たちが求める「安全」で「安心」な暮らしのために、自助、公助、そして共助がある共生社会となる必要があることを学びました。

スケジュール

- 10:00 開会
 - 10:05 講座 「検定振り返り&さまざまな啓発手法」
啓発手法体験道場 ラインゲーム・寸劇
 - 12:35 事務連絡・閉会
- 本日の講師 豊島 まき子 氏
(財)日本消費者協会・消費生活コンサルタント

啓発手法体験道場



◆伝えることの難しさをラインゲームを通じて知る！

4人グループで、二人は日本人、一人は日本語も英語も全く喋れないフランス人、一人は聴覚障がい者の設定で、誕生日順に並びというゲームで、簡単なことでも伝えるための工夫が必要であることを学びました。

◆ワークショップ ミニミニ出前講座をやってみよう！

「アテンションプリーズ・こんなのあります、悪質商法！」
参加者が3つのグループに分かれてグループ名をつけ、消費者被害の例題の中からグループのお題を選び、消費者被害に合わないようするためにどのような出前講座を行うか、道場の手順に沿って話し合い、実際に出前講座をやってみました。

選ぶ

●手順1 選ぶ

自分たちのテーマ（題材）を決め、講座・ロールプレイ・手品・漫才・コント・落語・絵本・ビデオ DVD・歌・ゲーム・等々からどういった方法で伝えるか、強調する部分はどこかなどを選ぶ。

構成

プレゼン
組み立て
担当決め

●手順2 構成する

オープニングからクロージングまでどのように組み立てるか、それぞれの役割決め、強調する部分の強調の仕方などを決めました。



※緑の返し言う、みんなで言うなどのやり方は記憶に残ります

実践

出前講座
開始

●手順3 実践！

3つのグループともに、寸劇を選び、5分という短い時間でミニミニ出前講座の劇のお披露目を行いました。手法に沿ってすすめることで、何を伝えたい出前講座なのかがよくわかる寸劇となりました。



消費者市民社会とは

消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代に渡って内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであること自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会
(消費者教育推進法第2条第2項)